

荻原学長告辞

森ノ宮医療大学・森ノ宮医療大学大学院へのご入学、おめでとうございます。在学生・教職員一同、心より歓迎いたします。また保護者の皆様、家族の方々におかれましても、お祝いを申し上げたいと思います。本日の入学式には、多くの関連学会、医療施設の代表の方々に御臨席いただいております、平素の御指導、ご支援に感謝申し上げますとともに、貴重なお時間をいただき、まことに有難うございます。

さて、森ノ宮医療大学は、既設の鍼灸学科・理学療法学科に加え、昨年度より看護学科が併設され、多様性に富む、質の高い医療大学として発展しつつあります。「鍼灸学」は、緩和ケア・補完代替医療の分野で従来の西洋医学とは異なる特徴を持ち、最近特に注目を集めている分野です。そして「理学療法学」は、高齢化社会を迎えた現在、寝たきりを防ぎ、患者様が生活の質を保ちながら健やかな長寿を全うして頂くために極めて重要な位置を占めています。さらに「看護学」は、チーム医療の重要性が指摘される現代医療において、その要と言うべき位置にあり、患者様と医療側の接点の最前線として極めて重要な役割を担っていることはいうまでもありません。本大学では、これら各分野でさまざまな専門知識・技術を有する臨床能力の高い教員が確保されており、各学科それぞれの分野で、確かな知識と技術を学ぶことができることと思います。

さらには、本大学の特色とも言える学科の垣根を越えた教育システムと、それに加え、基礎医学・一般教養の優れた共通教育により、その知識はさらに幅を広げ、多角的な視野と多方面にわたる教養を持つ豊かな医療人を育成する環境が整っていると自負しております。皆様も御存知のように、現在の医療の進歩と多様化は非常にめざましく、本大学の異なる医療分野にまたがる教育スタイルは、そのような医療の変革とニーズにマッチした医療教育と考えております。さらには臨床のみならず、大学院の設立により充実した最新の医学研究にも触れることができ、医療人に必要な科学的思考能力も高めてくれることでしょう。

優れた医療人になるためには、このように、医学的知識、医療技術、科学的思考を習得するのはもちろんですが、それに加え、病と闘う患者様への全人的医療の実践が重要です。近年のIT分野の進歩には目をみはるものがあり、それに伴い、世界のグローバル化も加速し、社会も一変しました。しかし、一方で、人間同士の対面関係の希薄さも指摘されています。病気だけを見て機械的にケアするのではなく、患者という一人の人間全体に接しケアする全人的医療では、この対面での人と人とのつながりが非常に大切になります。そのためには知識のみならず、患者の心の機微を感じ取れる感受性も磨いて頂きたいと思います。ナイチンゲールは医療人とは何かという問いかけにこう答えています。「Throwing yourself into others feeling!」。すなわち、「自分は決して経験したことのない、他者の感情の中に、自分自身を放り込む能力を持って」ということです。つまり、外から見ただけではわからない他者の感情の機微を感じ取り、相手の位置に自分を移しその方の気持ちを察して行動しなければならないということです。まさに全人的医療の本質をついた言葉である

と思います。本大学で学ぶ医学知識・医療技術・一般教養を通じて、科学的思考を育むとともに人間性を深め、病院 Hospital の語源でもある Hospitality、すなわち誠意あるサービスの実践をしっかりと学び、他者への奉仕の精神を持つ、品位ある医療人を目指していただきたいと願ってやみません。

本日入学された215名の皆様と、我々教職員全員が「同期の仲間」です。本大学は教員と学生の距離が近いことも特色です。困ったときには遠慮なく教員に相談してください。そして、4年間の大学生活で、よく学び、青春を謳歌し、是非生涯の友を見つけていただきたい。同じ大学で同じ道を志す友人は、きっと皆様の生涯の宝となり、豊かな人生の一助となることと思います。学生の皆様が有意義な学生生活を送り、豊かな人間性を育むために、本学教職員は全力をあげますが、本日、出席されている保護者の皆様、ご家族の皆様にもどうかご協力もお願いしたいと思います。

ナイチンゲールは医療人の重要な資質としてアート(教養)・サイエンス(科学的思考)・プロフェッション(プロとしての責任感)という言葉をあげました。そして医療人はコーリングすなわち天職である・神の導きによる敬虔な職業であると表現しました。これはヒポクラテスの誓いでも同様のことが示されています。「医療人という天職につくにあたり、私の生涯を人道に捧げることを誓います」皆様はその覚悟を持って、今新たに医療人を目指す自覚を持ち、これからの大学生活を有意義なものにして頂きたいと思います。ぜひこの気概を胸に刻んでいただきたく、お祝いの言葉として送ります。

本日は誠におめでとうございます。